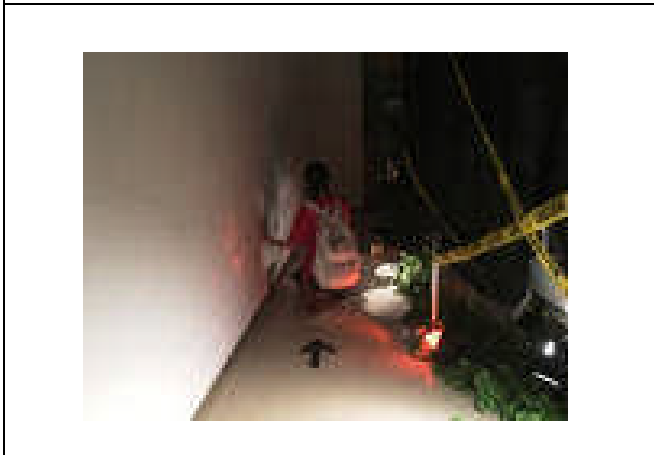


平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 姫路発 中高生のための東日本災害ボランティア
活動テーマ	東南海地震に備えて、楽しく学べる防災教育プログラムの作製と試行 東南海地震に備えて、楽しく学べる防災教育プログラムの作製と試行



①「29年度型の体感型防災アトラクション」のテーマは、「災害時要支援者」の救助活動にありました。東日本大震災時に釜石市の中学生たちが行った「要支援者」の救助、安全な場所へと導いた奇跡を知って貰いたいと感じていたからでした。それを可能にしたのは、日ごろからの的確な避難訓練。そして、地域の課題を中学生の一人一人が共有していたからでした。

当該事業の狙いもここにあります。日頃のご近所とのコミュニケーション作り。それが醸成されてこそ、地域の課題も共有でき、「自助」に「共助」を加えることが出来るとレクチャーしました。

②AR 体験会場では、火災発生時の煙体験の評判が良かった。壁に沿って姿勢を低く取って前へ進んでいく。地面から40センチ～50センチの位置でないと煙で前が見えないようになっていました。この会場では、東北の中高生たちによるレクチャーもありました。予め、数人を選んで、その時の体験を語り継ぐこととしていました。奇しくも、全員がその時の恐怖と共に、家族との再会時の安堵と喜びについての話を選んでいました。

当初、小学1・2年生であったため、「覚えていない」と口々に語っていたにも関わらず、当日は一転、鮮明にその時の記憶を蘇らせていたのには驚かされました。大震災を体験したものでないと感じ得ないものをそれぞれが言葉として発していたようでした。参加された全ての人々の心に直接に伝わったことだと思います。